

幌延市街地区で防災訓練を実施しました

「市街地に震度6強の地震が発生した」との設定で、幌延町としては初めてとなる防災訓練を10月28日（日）に実施しました。

参加したのは、第1、すすらん、第7、第9の4つの町内会の自主防災組織と役場、消防、幌延警察官駐在所の関係機関の職員で、総勢88名でした。

今回の訓練は、地震が発生してから役場職員が登庁し、避難所の開設と避難勧告の発令がきちんと住民に伝わるかどうか、そして避難所に到着するまでの時間を確認することを主な目的として実施しました。その結果、地震発生から避難所開設まで40分、避難勧告から避難完了まで18分と、予想より早い時間で終了できました。

避難終了後、避難所となった総合体育館で、消火器を使った消火訓練と、煙のトンネルを使った煙体験をしていただきました。参加された皆さんは、煙の中で方向感覚を失うなど、煙にまかれる恐ろしさを実感されていました。

当日、訓練に参加していただいた方々にアンケート調査を実施した結果では、非常持ち出し袋を用意している方は21%、家具の転倒防止を実施している方は14%と、まだまだ災害の備えが少ないことがわかりました。また、訓練自体の必要性については、73%の方が『必要と思う。』と回答されています。

今回の訓練では、4町内会の参加で、さらに事前をお願いしていた方ということで一部の方の参加に止まりましたが、今後も訓練の方法などもあわせて実施を検討していきたいと思っていますので、ご理解、ご協力をお願いします。



地震発生！
避難所を開設しました



続々と避難中



おつかれ様でした！町長から一言



避難所を目指して…



煙体験中



消火器で消火訓練



避難所でほっと一息